

MIT への長期海外派遣

物理工学専攻 博士課程 1 年 磯部 大樹

ALPS 海外派遣として平成 25 年 10 月 9 日から 12 月 28 日までの期間、マサチューセッツ工科大学 (MIT、アメリカ) を訪問し、Liang Fu 准教授のグループで共同研究を行った。Fu 准教授はトポロジカル絶縁体・超伝導体の理論に関して研究の初期の段階から成果を上げてこられた世界的に著名な研究者であり、今回の滞在期間の研究対象である結晶対称性によるトポロジカル絶縁体の理論を提唱した研究者でもある。その研究グループでおよそ 3 か月の期間にわたって共同研究を行うことができ、活発に議論が行われる環境の中、貴重な経験を積むことができた。

MIT では著名な研究者によるセミナーが頻繁に開催され、その中では議論が非常に活発に行われていた。共同研究だけではなく、このようなセミナーからも新たな知識を多く得ることができた。普段の研究の中でも教授陣、学生ともに、新しい話題や現在の課題について議論しあうことが積極的に行われており、このような環境の中で新しい物理がつくられていくのだと感じた。今回の長期海外派遣では、日本での研究から視野を広げ、海外での研究の現場を知ることができた。この 3 か月の間に得られた経験は海外派遣を通してこそ得られたものであり、今後日本に戻って研究を進めていく上でとても良い刺激となり、新たな動機づけとなった。



Rogers Building, MIT